

# キャッシュとキャッシュレス お金の教養④ まとめ・資産形成のヒント

---

2022年8月19日 リモート講義

山本国際コンサルタンツ 代表

山本 正行

# 収入と支出



# 生涯収入と支出

生涯収入

－  
(マイナス)

生活費

家賃

養育費

必要経費・レジャー

# より現実的なシミュレーション

夫	大学卒	年収300~1000万円(60歳)
妻	専業主婦 10年間パート	パート収入100万円×10年
	26歳で結婚 28才1子、30際2子出産	
第一子	私立大学卒	養育費 2300万円
第二子	公立大学卒	養育費 800万円
家賃	夫一人暮らし3年 結婚後同居6年	家賃8万 家賃10万 計1008万円
住宅	40際で4500万 住宅ローン20年返済	購入費4500万円 ローン返済額6000万円

# より現実的なシミュレーション

収入		
	夫	2億1945万円
	妻	1千万円
支出		
	生活費	1億3176万円
	養育費系	3100万円
	家賃計	1008万円
	住宅購入費(ローン返済額)	5500万円
	自動車購入費(4台)	800万円
	自動車維持費	774万円
収支		
		<b>△1413万円</b>

共働きの場合は1億7千万円の貯蓄が可能

# 講師私見

男女の別にとらわれることなく、  
平等に職業に就き、  
平等に家事、育児、を行う。

そのために必要な環境を社会が用意するばかりでなく、  
だれもが平等な社会環境を理解し、協力しなければならない  
(共働きを推奨)

# キャッシュレス決済





# キャッシュレス決済を使うにあたっての重要事項

- ① キャッシュレス、現金にかかわらず適切に「**お金の管理**」ができること
- ② ネット・スマホを正しく利用できること
- ③ ネット・スマホ利用のために適切に「**アカウント管理**」ができること



# キャッシュレス決済を使うにあたっての有効なツール

## ① パスワード管理アプリ

mSecure、トレンドマイクロ、ノートン等のパスワード管理アプリ、等

## ② 小遣帳、資産管理アプリ

マネーフォワード、Moneytree、等



# 大切なお金を貯める・増やす (投資に対する考え方)

# 投資とは何ですか？

広い意味で

**将来を見込んでお金を投入すること**

狭い意味で、

**お金を増やす目的で株式や債券を購入すること**

実はあまり説明されない大前提

**「投資によってお金を増やす」**

よりも

**「働いて収入を増やす」**

方がより実現性が高い場合が多い

# どうして投資をするのですか？

銀行にお金を預けても増えないから

老後の資金が不足する心配から

給料などの収入が足りないから

# 投資する条件

十分な資金があること

株式、債券、投資信託、などの金融商品を  
よく理解していること

みずからリスクをとることができること

# 金融商品について知っておこう





# 金融商品の性質

どのくらい利益  
が期待できるか

収益性

3つの基準すべてを完全  
に満たす金融商品はない

安全性

流動性

元本が減らないかどうか

お金を引き出しやすいかどうか

**元本**とは、金融商品の購入・投資に  
充てた資金の額。いわゆる元手です。

# 主な金融商品その①

## 預金 貯金

- ・ 銀行等にお金を預けること
- ・ 給与の受け取り、公共料金の引き落としなどでも利用
- ・ お金の引き出しが簡単（銀行やコンビニのATMなど）
- ・ 元本保証あり（元本1,000万円までとその利息）

**元本保証**とは、金融商品の購入・投資に充てた資金が減ることはないということ。



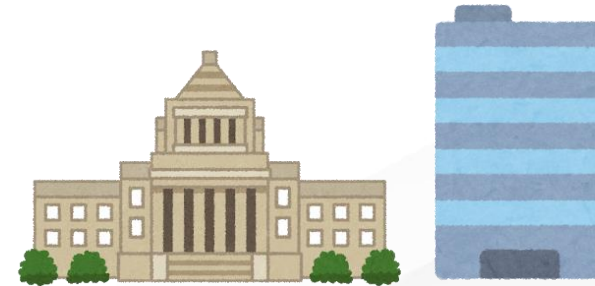
⇒ 預金・貯金は、一般的に、**収益性は低い（△）**が、**安全性・流動性は最も高い（◎）**。

# 主な金融商品その②-1

## 債券

- 国や会社にお金を貸すこと
- 定期的に利子が支払われ、満期がくれば額面金額を受け取ることができる
- 国が発行するものを「国債」
- 会社が発行するものを「社債」という
- 発行した会社等が倒産すると、返済されない可能性がある

**(元本は保証されていない)**



⇒ 債券の**安全性は、国債は高く（◎）、社債は発行企業次第。**  
一般的に、**流動性は低く（△）、収益性は、預金より高く、株式より低い（○）。**

# 主な金融商品その②-2

## 株式

- 購入者（株主）は会社の一部を所有することになり、会社はお金を返す必要はない
- 会社が上げた利益に応じて配当などを受け取ることができる
- 会社の業績や、国内・海外の景気などによって、株式の価値（株価）も変動する  
**（元本は保証されていない）**

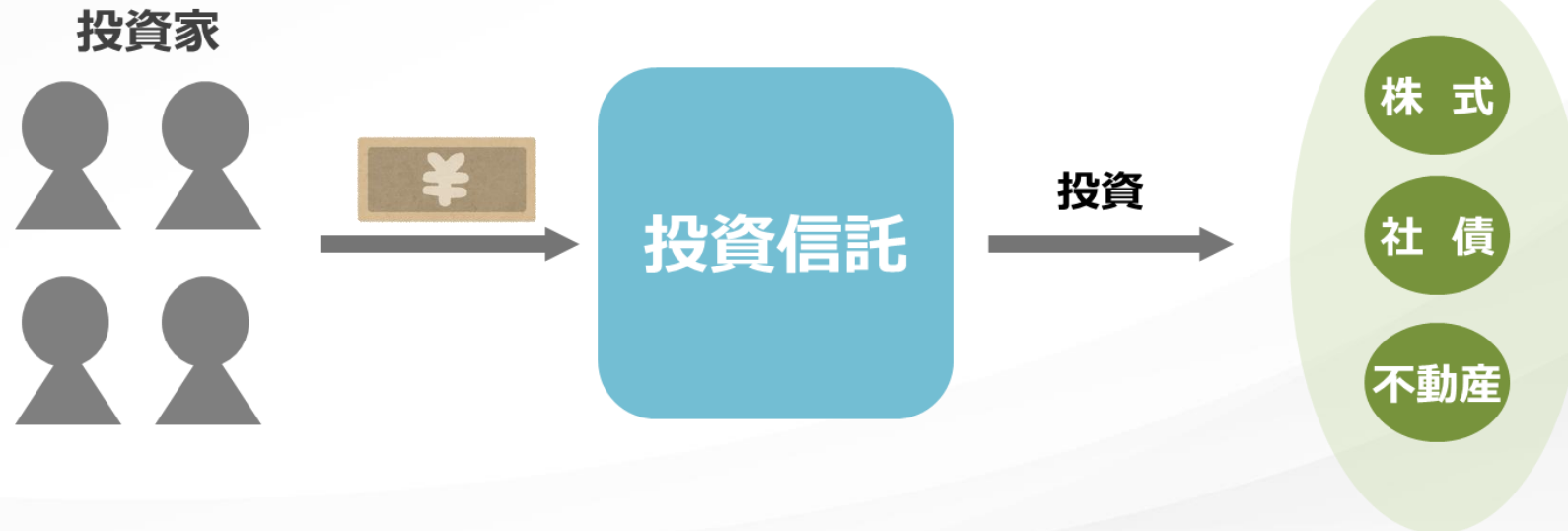


⇒ 株式は、**安全性は低い（△）**が、**高い収益性（◎）**が期待できる。  
**流動性は高い（○）**。

# 主な金融商品その②-3

## 投資信託

- 多くの人から集めたお金を、1つにまとめて大きな資金にし、**株式**などに**投資する仕組み**
- ファンドともいう
- 株価の変動などによって、価格が日々変動する **(元本は保証されていない)**
- 少ない金額から購入できたり、分散投資もしやすい



⇒ 投資信託の**収益性、安全性は、投資対象次第**。流動性は高い（○）。

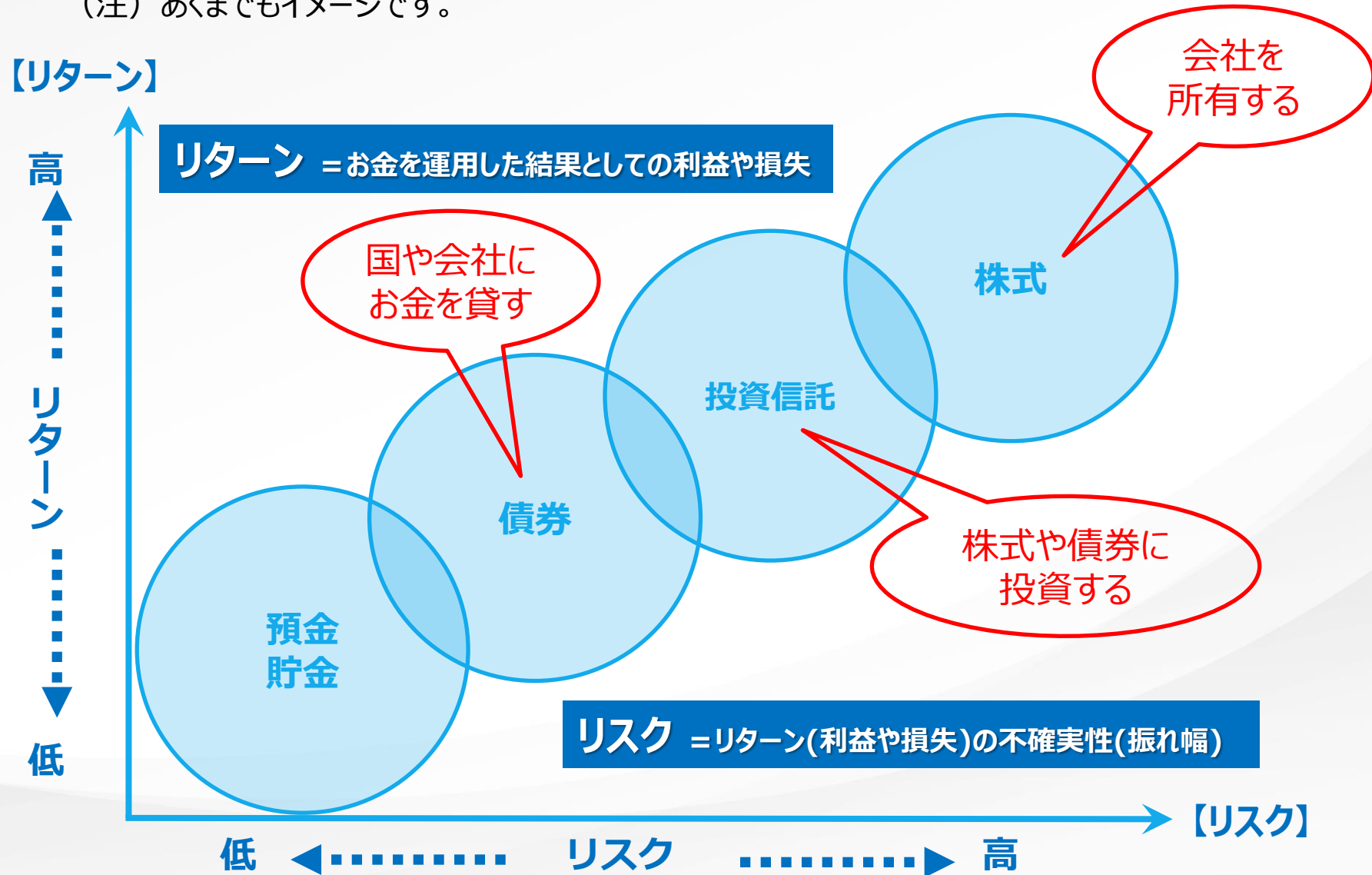
# 主な金融商品の特徴まとめ

	安全性	収益性	流動性
預金・貯金	◎	△	◎
株式	△	◎	○
債券	○	○	△
投資信託	△~○	○~◎	○


⇒ 3つとも◎の金融商品はありません。目的に応じて使い分けましょう。

# 主な金融商品の特徴まとめ

(注) あくまでもイメージです。







実習  
株式、債券に投資してみる  
(シミュレーション)

**お疲れさまでした！**